

未来につなぐ 豊かで美しい山を目指して

郡上市は、平成22年3月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである「郡上山づくり構想」を策定しました。「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念に、森林整備、木材利用、人材育成の3つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。今後も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体、県と協力して山づくりを推進していきます。



郡上山づくり
構想

■郡上市の森林の現状

郡上市の森林は約9万haであり、市内面積の約9割を占めます。そのうち林業経営を進めていく森林を「木材生産林」約4割、その他を「環境保全林」約6割と区分しています。木材生産林は、林業事業体等により森林経営計画が策定され、森林の管理が行われることが求められています。環境保全林では、水源涵養機能や山地災害防止機能の維持を図るための森林づくりが求められています。

■災害に強い

多様性のある山づくり

森林経営管理事業／所有者の手入が行き届いていない人工林の増加に伴い、山地災害のリスクが高くなっています。市では、林業経営に適さない森林（環境保全林）を対象に、森林所有者から経営管理を受託し、災害に強い山づくりを行っています。

スマート林業推進事業／県による航空レーザ計測データに基づき人工林の直径や材積の解析を行い、効率的な森林経営管理を行うための専用システムの整備に取り組んでいます。

このシステムを活用し、施業の効率化や、高精度な計画の作成を林業事業体と連携して実施します。



▲森林所有者との意向調査説明会

■山を支える人づくり

林業技術者育成・確保事業／適正で安全な森林整備の実施及び野生鳥獣による森林被害を防止するため、専門的な知識や技術を有する人材の育成と新たな人材の確保を支援しています。森林施業に必要な資格取得のための講習会等の受講や開催にかかる経費を助成しています。



申請方法等

■木育推進支援事業

郡上で生まれ育つ赤ちゃんに、早くから木に親しみを持ってもらえるよう、市内製造業者が手掛けた木製玩具を贈呈しています。また、市内の幼稚園・保育園等において、道具も材料も全て郡上産のスギを使用した木製ジャングルジムづくり体験を実施しています。



▲木製ジャングルジム「くむんだー」

■快適な森林空間づくり

生活保全林整備事業／倒木等により集落や生活道路などに危険を及ぼす可能性がある森林において、林縁部から30m以内の範囲で立木の伐採等の整備を実施しています。森林所有者による整備が困難な場合、自治会の意向などを考慮しつつ、緊急性の高いものから順に整備を進めています。



▲森林整備前



▲森林整備後

わからない森林の増加、担い手の不足等が大きな課題となっています。

このような課題を解決するため、「森林環境税」及びそれを地方に配分する「森林環境譲与税」が創設されました。令和6年度から森林環境税（国税）として年額1千円徴収させていただく制度です。市では、森林環境譲与税を活用し環境保全林の整備や、人家裏の危険木伐採を含む森林整備等を実施するなど、みなさんの生活を守る森林づくりを目指しています。

■企業との協働による森林づくり

森林をボランティアで整備する活動が活発になっており、企業の社会貢献活動の一環として森林づくりに参加することが各地で取り組まれるようになってきています。市では、企業と協働し、森林整備活動や森林を利用した地域との交流活動等を実施することで森林づくりの推進や関係人口の創出に取り組んでいます。

■ 農林水産部林務課

67・2121

■災害に強く、自然豊かな森林にしていくなために
森林環境譲与税の活用／私たちの暮らしは、森林の持つ働きから生み出される、たくさんの恩恵（土砂の固定、水源のかん養、地球温暖化防止等）によって、支えられてきました。一方で、所有者や境界が

ブラザー工業（株）は郡上市で森林保全活動を行っています

ブラザー工業CSR部 岩田 俊夫

■郡上市を自然豊かな地にするために

名古屋市に本社を置くブラザー工業（株）は、地球規模の環境課題に貢献するため、2050年に向けた環境目標「ブラザーグループ・環境ビジョン」を策定し、二酸化炭素排出削減、資源循環、生物多様性に関する目標を掲げ継続的な取組みを進めています。

■八幡町、美並町の間伐活動

ウをはじめとした希少生物の生息が確認されるようになり、平成26年から名古屋大学に学術的な観点で指導をいただき、長期にわたる森林づくりを計画し、現在も継続して実施しています。

■自然共生サイトの認定（令和5年10月）

八幡町では、計5回にわたる保育間伐を行い、樹木の育ちやすい森林へ育てていく活動を行っています。美並町では、将来木材として利用するため定期的な間伐を行っています。

■白鳥町の植樹活動

平成20年から過去27回にわたり、高平延年の森（白鳥町）にて、森林の育成のため植樹活動を行っています。参加者延べ2,529人、約6,860本の植樹を行い、ギフトヨ

「ブラザーの森 郡上」が環境省により「自然共生サイト」に認定されました。ブラザー工業（株）、郡上市、郡上森林組合の3者の継続的な取組みが環境省に評価されたもので、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として回復保全しようとする

■更なる取組みに向けて

「30 by 30」達成に向け、民間企業の取組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域として認定されました。

昨年の10年延長の協定では、間伐にも重点を置きました。樹木の生長を促し、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化防止に貢献する、生物多様性に富んだ森林を目指しています。これからも市民のみなさんの理解と協力をお願いします。

